
影技 (SHADOWSKILL)

凜驟雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

影技（SHADOWSKILL）

【Nコード】

N1271A

【作者名】

凜驟雨

【あらすじ】

特にありませんが、知ってる人ってどのくらいいるんだろう・・・。

闘技場

「状況は圧倒的に不利よ……。掛け率は7：3、勝てばぼろ儲けだけど 勝てるの？ エレ、あの化け物に」

雄大にそびえるコロッセオ、その控え室で交わされる言葉。

「それより、手前はあたいに賭けたのかいフォーウリー」

「信用してますから」

「よく言うよクソツタレ、まあよくみてな。大金持ちにしてやるよフォーウリーに後ろを向け、エレは歩みだす。存在する自らの字と誇りのために。」

影技

南の城塞都市「クルダ」

「この栄誉ある戦いを」

センターポールにはためく赤い旗の下、今日も修練闘士達は己が腕で競い合う。

「偉大なる王と我らが英雄」

クルダには象徴ともいえる色がある。

「スカーフェイスに捧げることを」

血のような赤、それは体を駆け巡る熱い体液の色。

「我が血に賭けて戦う!!」

そう、今のエレ姉のように……。

闘技際のの相手は人間とは限らない。むしろ力のある者の相手は獣魔とよばれる化け物のことが多い。エレはクルダの中でもかなりの使い手、その証拠にこの準決勝までの対戦相手は全て獣魔だった。でも、今日の対戦相手は普通の獣魔ではない。今までに幾多の戦士をたちを葬ってきた化け物　バーセルク。

「ちっ、首の骨折れてるのに平気な顔かよ……それならっ!」

エレの左足が闘技場の地面を噛み、あたりの地面がえぐれる。溜め込まれた力が右足へと移り、バーセルクの眼前ではじけた。

「くっ、くっ、クルダ流交殺法、舞乱!」
ブーメラン

バーセルクの顔が胴体と離れ、首から体液が飛び散る。その体液がエレの体に触れた。

「くっ、体液毒か……」

首と胴体のつながっていないバーセルクは、それでも死ぬことは無く、エレを殺そうと動き出す。

「やっぱり無理だよ!　止めなくちゃ」

闘技場の観覧席でみていたガウは、無謀に思える戦いを止めようと体をひるがえす。

「待ちなさいガウ!!」

フォウリーがそれを制す

「フォウリー。何故止めるの？ このままじゃ……」

「馬鹿ね、ここで止めたらエレが怒るわ。エレもクルダで字を持つ身よ。そんな修練闘士が途中で戦いをやめるかしらね？」

「あ……」

「ごらんなさい、あの嬉しそうな顔を」

対毒防御開始。

「今、エレは修練闘士としての誇りを自分の総てをもって示そうと
してる」

成功。

「自分のありったけの命を勇氣に代えてね……。それに絶対勝つて
いったんでしょ？ 勝つからお小遣い全部かけろって……」

「う、うん」

「ならみなくても先に帰れるわ。だってエレが捨て子のあなたを引
き取って育てはじめてから四年間 あなたとの約束、エレは一度
だって破ったことないもの」

武器言語開始。

「我は無敵なり」

全身力終結。

「我が影技にかなうものなし 我が一撃は、無敵なり!!」

エレ姉は傭兵王国クルダに伝わるクルダ流交殺法という、難しく
危ない技の使い手で、その中でも秘技と呼ばれる「影技」をも会得
していて、好んで使います。この技もその一つ。

クルダ流交殺法、影技、レイビダ裂破。

「ウオッオオオオオオオッ」

バーセルクが倒れると同時に歓声が上がる。

「エレ姉!! よかった、僕でっきり、もうだめかと……」

「馬鹿野郎!! 男のくせにピーピー泣くな!! いいか……ガウ。
仮にも傭兵から修練闘士になろうという者が命を賭けた戦いで泣く

んじゃない！！ 戦う相手に最大の尊敬と敬意を払い 打ち倒せ
！！ それが…… 人の生き死にで糧を得る修練闘士としての最低限
のルールだ」

「はい……」

ガウがしゅんとなる。

「それより賭けの賞金おろしてパーティーの準備でもしとけよ」
「うん！！」

言い終えるとエレは歓声の鳴り止まない闘技場を後にし、姿を通
路へと移していった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1271a/>

影技（SHADOWSKILL）

2010年10月8日13時19分発行